

内因性重症事例に対する事後検証の現状と課題について

【趣旨】

内因性重症事例に対する事後検証の各地域MC協議会の実施状況や実施方法を共有し、課題について検討する。

【当地域MC協議会の取組状況】

東葛飾湾岸地域MC協議会において、令和5年10月1日より内因性重症事例に対する事後検証を開始。検証対象は以下の2項目で、迅速に病院搬送ができていないかを検証目的とし、該当事例は検証票を用いて検証している。

- ① 初診時傷病名に「心筋梗塞（急性心筋梗塞、STEMI、AMI等含む）」と記入があり、なおかつ傷病者接触時間から初期要請時間が20分を超えた事案。
- ② 脳卒中を疑い、傷病者観察にてELVOscreen+FAST7項目中4項目以上に該当し、なおかつ傷病者接触時間から初期要請時間が20分を超えた事案。

令和5年10月から12月中の検証事案件数は、市川市消防局1件、浦安市消防本部0件。

【実施に当たって解決すべき課題等】

検証目的及び検証対象事案が適切かどうか。

検証対象の拡大に伴う検証報酬などの追加予算の確保。

【今後の見込み】

他の地域MC協議会の実施状況や方法も考慮し適切な運用を行ってゆく。

【各地域MC協議会への質問事項】

- ① 内因性重症事例に対する事後検証の実施の有無。
- ② 実施しているならば、検証対象や方法、検証に対する報酬、検証件数などをご教示いただきたい。